

双幹形のミカンの改造法 2

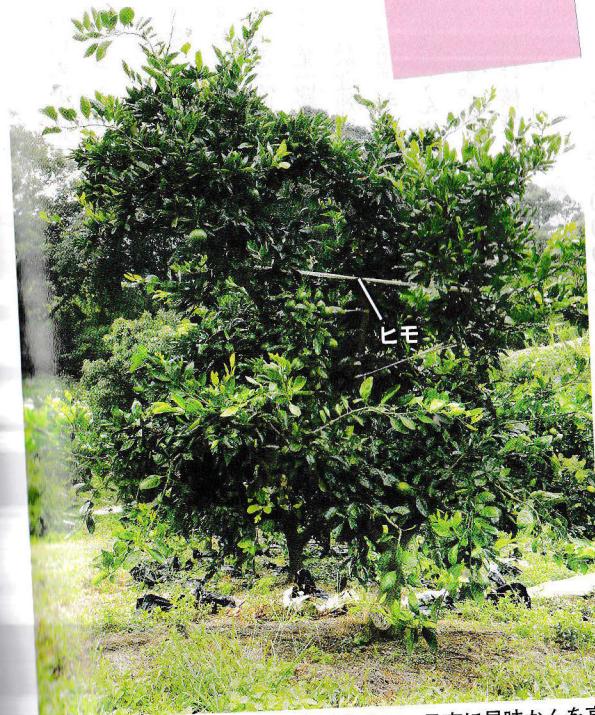
たどりついた!

ぐちゃぐちゃ樹形の改造法

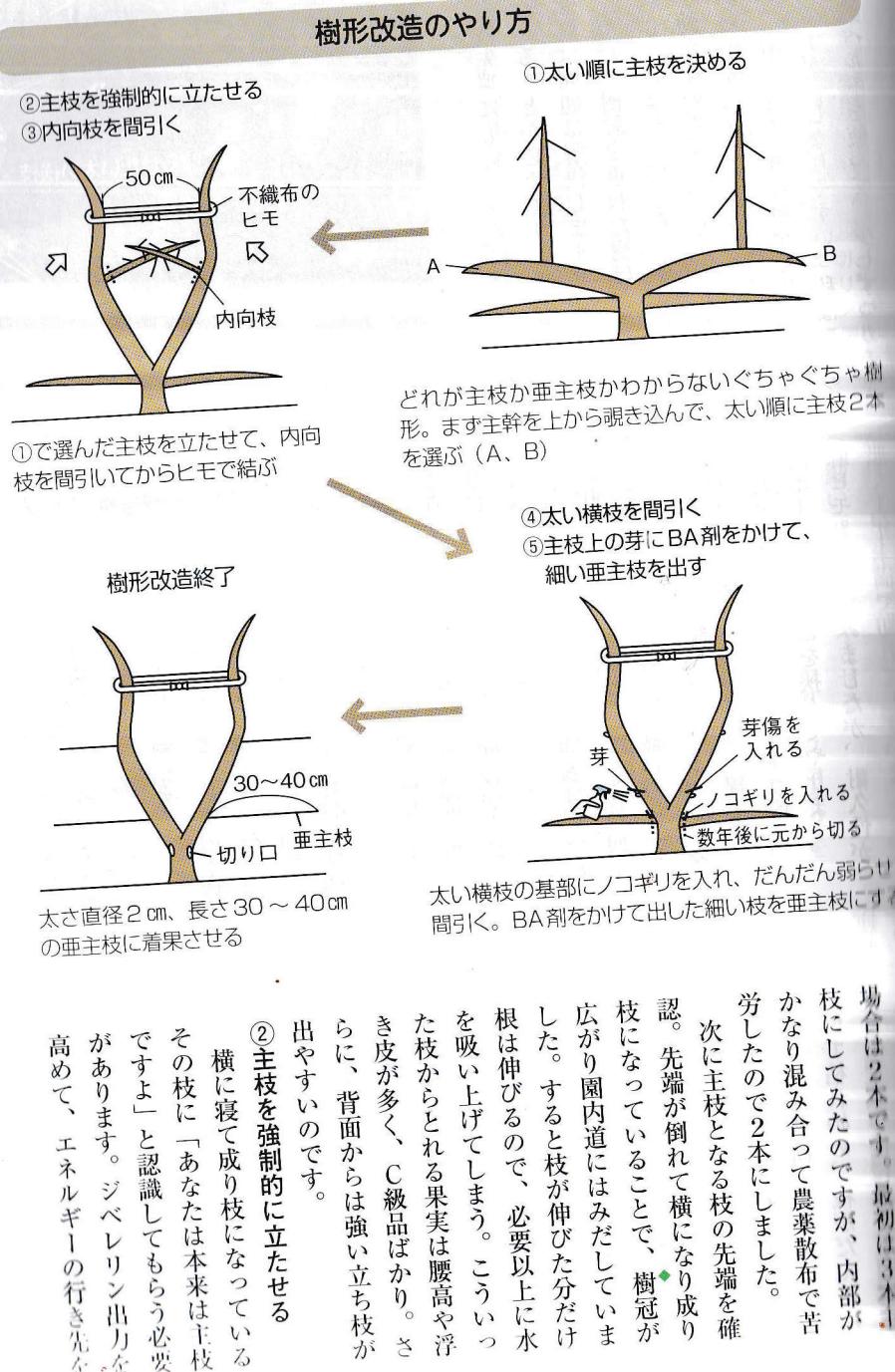
福岡・只限智国



筆者(39歳)。美容師から転職して就農12年目。1.3haでミカンを栽培(S)



5年前に樹形改造した樹齢35年のミカン。日南に早味かんを高接ぎしている。横になっていた主枝をヒモで縛って立ち上げた(佐藤和恵撮影、以下Sも)



前回は私の理想とする、主枝のジベリン出力が高い双幹形について紹介しました。今回のテーマは、主枝と亜主枝がぐちゃぐちゃだつた元の樹形からの改造方法です。役割分担をして主枝には樹勢維持、亜主枝には着果させることで、果実の品質が上がり、隔年結果が減らせます。私は日南に早味かんを高接ぎした30年生の樹と4年生の早味かんを樹形改造しました。手順は以下のとおりです。

①太い順に2本の主枝を決める

また、

樹幹のそばまで行って上から

見て、2本の主枝を決める

場合は2本です。最初は3本。

枝にしてみたのですが、内部が

かなり混み合って農薬散布で苦

労したので2本にしました。

次に主枝となる枝の先端を確

認。先端が倒れて横になり成り

枝になってしまっていることで、樹冠が

広がり園内道にはみだしていま

した。すると枝が伸びた分だけ

根は伸びるので、必要以上に水

を吸い上げてしまう。こういつ

た枝からとれる果実は腰高や浮

き皮が多く、C級品ばかり。さ

らに、背面からは強い立ち枝が

出やすいのです。

②主枝を強制的に立たせる

横に寝て成り枝になつていてる

その枝に「あなたは本来は主枝

ですよ」と認識してもらう必要

があります。ジベリン出力を

高めて、エネルギーの行き先を

のこぎりは サムライ *SAMURAI*

軽く引くだけで、
どのノコギリよりも
「楽」に「速」く「美」しく
切れるノコギリ

特許曲刃鋸



こちらも人気！ 特許曲刃鋸

荒目・中目の3段刃

侍大将シリーズ

山林・造園・果樹用

新登場 果樹用 特許曲刃鋸

特許曲刃鋸の細目タイプ

果樹用 240mm

全70種類の鋸があります。
カタログをご請求ください。

電話料無料(受付時間:平日9:00~17:00)

FAX: (0794) 83-5767

Email: samurai@kanzawa-samurai.co.jp

Webショップ:

www.kanzawa-samurai.co.jp

ホームセンター・コメリの全国1100店舗でも一部の鋸を販売しております。

神沢精工株式会社

兵庫県三木市別所町高木258番地

TEL: 0763-0435



ノコギリを入れて弱らせてから切った横枝の断面。ジベレリン出力が低くなり、植物ホルモンのバランスが整ってきれいな円になる



ノコギリを入れずに切った横枝の断面。ジベレリン出力が高くオーキシンがたくさん発生。枝の下側に溜まるので橢円形になる

主枝先端に集約させるには、主枝を立たせることが必要です。この枝を立たせれば問題は解決します。

ただ、樹齢を重ねた樹ほどそう簡単にはいきませんでした。冬はとくに枝が動かないで、少しづつ立てるか暖かい季節に立てるのがいいと思います。雨の日は、滑りやすく作業しにくいですが、しなりやすい。私はラッシングベルトを使って、少しづつカチヤ



太すぎる横枝の基部に1年前にノコギリを入れた(かなり太いので基部近くに2カ所)。着果させながらだんだん弱らせて元から間引く(S)

カチヤしながら主枝を立てています。いきなりやると折れてしまうこともありますので、気を付けましょう。

③ 内向枝を間引せん定する

2本の主枝を立てる時、片方の主枝から出た枝がもう片方の主枝の枝にぶつかってしまいます。これが内向枝なので、ラッシングベルトを付けた状態で元から切り落とします。

主枝の先端はやや内向枝にします。こうすることで、光が樹冠内部に当たりにくくなり、新たな内向枝が出にくくなつたように感じます。

立ち上げた主枝同士の間隔はだいたい50cm(前ページ図)。その主枝同士をアクスター・テープ(不織布のヒモ)かマイカーラインで縛つたら、ラッシングベルトを外します。マイカーラインで縛つた場合は樹に食い込んでしまうので、段ボールや布などを挟んでやります。麻ヒモも使ってみましたが、耐久性が悪く1年未満で切れてしましました。

年は着果させられます。

⑤ 細い亜主枝を出させる

太い横枝を間引いたり、ノコギリを入れて弱らせている間に、品質のいい扁平な果実を成らせるための細い亜主枝を出させましょう。私は2月下旬に、亜主枝にしたい位置の芽の上に芽傷を入れてから、100倍のBA剤を霧吹きで芽にかけます。すると、3月ごろからその芽が伸び始めて1年で30~40cm伸びる。数年太らせてから、弱らせていた横枝を間引いて交代させます。亜主枝が30~40cmになつたら、今度は亜主枝上の基部芽にBA剤をかけ

て側枝にします。側枝は大きめで4~5cm以上にならないようにときどき切り戻しましょう。

4~5年かかってようやく①~⑤の改造ができました。ただ、いくら主枝を強制的に立たせても、今まで形成された導管はつながつたまま。壊れたボーズのように年に何年かは横枝の切り口から強い枝が出来ますが、主枝先端が強くなければ次第に収まってしまいます。最終的にこういう樹にしたいというビジョンを明確にして、少しづつプロセスを踏むのが大切です。

(福岡県みやま市)

④ 何年かかけて太い横枝を間引く
主枝が樹勢維持に集中できる状況ができたら、今度は果実を成らせる亜主枝です。ジベレリン出力を弱めて果実を成熟させるには、できるだけ細い枝を亜主枝にします。そのため、太い横枝は間引く必要がありました。ただしこれは間引きすればするほど葉と結果母枝が減る。一気にやると収量がガクンと減って、生活が厳しくなつてしまふ。さらに、樹自体の反発も強くなる。そうならないよう、横枝の間引きは徐々にやるのが肝心です。

すぐに間引かない横枝は、枝の元に上からノコギリを入れると弱らせることができます。切り込みの深さは枝の直径の3分の1~半分。木質部までつかり入れることで、主枝から流れてくるジベレリンを遮断。1年後には切り口が乾いて枯れ始め、枝がだんだん痩せしていくので数年後に丸から間引きます。里地の階構は下がり下がりで枝が